

防災通信 36号

発行日	2015年9月15日
発行責任者	大分県防災活動支援センター 理事長 廣瀬 一策
ホームページ	http://opdo.sakura.ne.jp/

大分県自主防災組織活性化支援センター

防災士スキルアップ研修



8月23日(日) 10:00~12:00 竹田市

竹田市社会福祉センターいきいき交流館 参加者9名
「防災士の活動を考える」と題し新任防災士のスキルアップを目的に開催しました。防災対策は事前の備えに勝るものはないことを確認しました。(講師:清松事務局)



関西大学教授
山崎栄一先生

8月28日(金) 19:00~21:00 由布市 参加者49名

関西大学教授 山崎栄一先生を招いて講習を行いました。災害法制の概要に始まり罹災証明法の重要性、災害救助法、生活再建支援法、災害弔慰金等について講演。「防災士として認識しておくべき重要な項目であり今後の活動に生かしてほしいと思います。」と関西弁でやさしく公演される先生の姿はとても好感が持てました。



9月10日(木) 19:00~21:00 宇佐市 市役所

地域活動の手法について ワークショップ
参加者54名(うち女性防災士8名)で、地域別10グループに分かれ、「地域活動についてのテーマ」をグループ毎に決めてワークショップ。テーマには「防災意識を向上させるためには」防災訓練の進め方「備蓄について」等が挙げられました。グループリーダー1名を残し、各グループ員が他グループへ移動しながらの検討会。発表も全グループで実施、座学より身についたことが多いとの意見もありました。

防災士養成研修



8月17日(月)、18日(火) 14:40~ 大分市教育センター

大分市教育委員会 参加者88名

昨年は会場が狭く指導が十分にできませんでした。今年は広い会場で、指導者も会場を回り、夫々意見交換できました。受講者がどのように受け取ったかわかりづらく、来年からはセンター独自でアンケートを取り、今後のよりよい指導に務められるよう努力したいと考えています。



8月29日(土)、30日(日) 9:00~ 佐伯市三余館

佐伯、津久見、臼杵地区

三つの地区から集まり参加者109名と大規模な研修会となりました。御夫婦で受講される方もあり、防災活動の大切さを理解している人も多いと感じました。



8月21日(金)、27日(木)、9月8日(火) 9:00~

大分県総合社会福祉会館

県内の福祉施設で働く方64名が受講、普段から人命を預かる者だという意識があり熱心に受講されていました。三日目は、仕事の都合で2名欠席され、資格試験を受けることができませんでしたが、別途、他の会場で受講していただくことになりました。施設で働くということは知力、体力を必要とする大変な仕事です。今後も強い意識のもと頑張って戴きたいと思います。全員が資格試験に合格しました。

裏面も御覧下さい

防災アドバイザー業務

大分市荷揚町小学校PTA 父親の会



8月22日(土) 荷揚町小学校体育館

クロスロードゲーム、簡易トイレ作り

部会長様より、7月初め頃から依頼を受け打合わせを2回実施し、クロスロード、ダンボールトイレ作り、空き缶炊飯等の実施方法や準備するものの説明を繰り返して行い、最終的にクロスロード、ダンボールトイレ作りを実施することになりました。当日若干開始時間が下がり気をもみましたが、熱心に取り組んで頂き、好評でした。

日田市高井町防災会防災研修 長谷地区



8月23日(日)長谷地区公民館 防災研修(DIG)

この地域は、過去に水害、土砂災害を経験した地区で、住民の防災意識はかなり高いと感じました。準備した地図が完全なものではなく皆さんに不評でしたが、ここは浸水する、ここは土砂崩れがあるという危険箇所等の把握はできていました。指定避難所(五和公民館)が遠く、さらに途中の道路が浸水する可能性が高いということで地域避難所を設けています。長期避難になると、五和公民館、夜明振興センターに移動する必要があります。

大分市片島地区防災会 防災訓練



9月6日(日)滝尾小学校 参加者150名

昨年に続いて2回目の防災訓練。今回は、避難訓練、非常食炊き出し、地震体験車、DIGを実施。あいにくの雨でしたが参加率70%となりました。体育館集合後、20分の防災講話を行った後、地震体験、DIGに分かれて実施。DIGについては7班(1班約10名)で、地区の防災士が1名ずつ分かれて住民を指導、熱心に検討する姿がみられました。

大分市端登河原地区防災研修

9月1日(火) 大分市河原公民館

中山間地域で、河原川流域に住む30戸余りの自治会。水害の危険がある地域で周囲を田んぼに囲まれています。県立の二豊学園が地区内にあり、緊急時には学園に避難できます。当日は26名の主に主婦が参加、地震や水害についての講話を行い非常食の炊き出しを実施。初めての研修で大変勉強になりましたと好評でした。

津久見手話サークル「子鳩」防災研修



9月3日(木) 津久見市市民ふれあいセンター

今年で3回目の研修、視覚障害者のサークルで年に一度の防災研修を行っています。サークルのメンバー4名が防災士の資格を取り、障害者を始め地域の方々に貢献したいとの信念を持っています。清松事務局長の講話に続き、狭間理事が非常食、避難所の過ごし方を指導。大好評でお礼の電話を戴きました。

来ちよくれ竹田研究会 農泊経営者

9月3日(木) 災害対策講話

竹田市の農泊経営者でグリーンツーリズム組織を結成。災害発生時、取るべき処置と方法(宿泊客の避難、備蓄について)の講話を実施。受講者は熱心に研修されていましたが、竹田市の避難者受入先として協定、締結を予定しているとの事でした。

大分市東野台防災会 DIG続編



9月6日(日)東野台公民館 参加者44名

防災会長及び防災士の連携が素晴らしくとれている自主防災会。昨年もDIG研修を行いました。時間は都合で十分にできませんでした。今年はその纏めの意味でDIGの続研修を財前理事が実施。また清松事務局長の「火山の噴火について」の講話を行いました。